

2026  
第71回 埼玉母親大会  
第62回 深谷地区母親大会

生命を生みだす母親は 生命を育て 生命を守ることをのぞみます

\* 7月12日(日) 13:30~16:00 受付開始 13:00

\* 深谷市民文化会館 (深谷駅から1.5km)

※深谷七夕まつりのため道路の混雑が予想されます。  
お車でお越しの方は余裕を持ってお越しください。

\* 記念講演

「紛争地、被災地に生きる人々の声～取材から見えてきたこと～」

安田菜津紀さん (認定NPO法人Dialogue for People副代表/  
フォトジャーナリスト)



プロフィール：1987年神奈川県生まれ。認定NPO法人Dialogue for People (ダイアログフォーピープル/D4P) フォトジャーナリスト。同団体の副代表。16歳のとき、「国境なき子どもたち」友情のレポーターとしてカンボジアで貧困にさらされる子どもたちを取材。現在、東南アジア、中東、アフリカ、日本国内で難民や貧困、災害の取材を進める。東日本大震災以降は陸前高田市を中心に、被災地を記録し続けている。著書に『国籍と遺書、兄への手紙 ルーツを巡る旅の先に』（ハウレーカ）、他。上智大学卒。現在、TBSテレビ『サンデーモーニング』にコメンテーターとして出演中。

当日のプログラム

- ◆13:00 受付
- ◆13:30~16:00 全体会 (オンライン配信)  
文化行事/保育園の子どもたちの歌(録音)と  
保育士有志による「エイサー踊り」  
記念講演/安田菜津紀さん

第71回日本母親大会 in宮城  
2026年9月12日(土)全体会  
13日(日)分科会

※オンライン申し込みしめきり 6月29日(月)  
※保育申し込みしめきり 7月2日(木)  
※会員券999円 事前にお求めください

《共催》第71回埼玉母親大会実行委員会・第62回深谷地区母親大会実行委員会

《後援》埼玉県・深谷市・深谷市教育委員会

《連絡先》埼玉母親大会連絡会 さいたま市浦和区仲町2-14-11 ゆないてい浦和 TEL/FAX 048-822-1817

# 母親が変われば社会が変わる！

## 母親運動のあゆみは日本の女性運動のあゆみです

### 埼玉母親大会のあゆみ

母親・女性が手をつなぎ、「核戦争から子どもを守りましょう」と1956年に第1回を開催してから、毎年「埼玉母親大会」を開き、子育て・教育・暮らし・平和など様々な母親・女性の願いを県に届け、保育所・高校増設など貴重な成果をあげながら、69年、戦争放棄の平和憲法にかさね、母親運動をあゆみつけてきました。

### 母親大会のはじまり 核戦争から子どもを守ろう

1954年、アメリカの水爆実験で、マグロ漁船員の久山愛吉さんが亡くなりました。広島・長崎につぐ3度目の被爆に母親たちは怒り、平塚らいてうさんら5人は全世界に向け「原水爆禁止のための訴え」を送り、

1955年スイスのローザンヌで世界母親大会開催が決定。それに先立ち、6月、第1回日本母親大会が東京で開かれ、日本各地の炭坑や農村からも1円募金などで送りだされた2000人の母親が集まりました。世界大会に河崎なつさんを団長にあらゆる分野から代表を選び、14人が参加しました。幅広い母親運動の出発点です。

帰国後の報告会は、全国各地で数千回開かれ、各地に母親運動が広がりました。母親・女性たちの願いをかけた、貴重な成果を上げながら70年余をあゆみつけてきました。世界母親大会によせられたギリシャの詩人ペリディス夫人の詩の一節「生命（いのち）を生まだす母親は生命を育て生命を守ることをのぞみます」は、今日まですべての母親・女性の心をとらえ、連帯のローガンになっています。

### 《文化行事》 保育園の 子どもたちと保育士

深谷の実行委員会では、文化行事で「保育園の元気な子どもたちの歌を届けたい」という声があり、今回のプロジェクトがスタートしました。

前半は、実行委員会に参加している保育園に通う年長さんを中心とする子どもたちの歌声を、保育園での活動の様子を写真と共に紹介します。

後半は、その保育を支える保育士有志による『エイサー踊り』です。「本物を子どもたちに見せたい！」という思いから、荒馬座の指導を受け練習し、夏祭りなどで披露しています。

深谷の未来を担う子どもたち、若者たちのエネルギーに満ちたステージを、お楽しみ下さい。



ホールで綱引き



ジャガイモを植えるための畝づくり



園庭でお昼ごはん



### 《 深谷市民文化会館 》

深谷駅北口から1.5km 深谷市本住町17-1

TEL : 048-573-8756